



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.48

2018年7月号

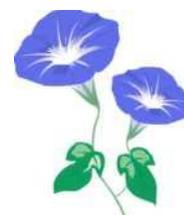
ネット通信 花 便 り



受賞の喜びを分かち合う会員たち（園芸福祉の庭にて）

目次

受賞報告	P2
シンポジウム in おかやま	P3
市役所玄関前花壇の様態替え	P4
きゅうでん Play Forest 2018 in 舞鶴公園にて	P5
園芸福祉の庭定例作業に参加	P6
クラフト部報告	P6
実践事例発表会	P7~P8
「園芸福祉くるめの活動」	
「アジサイの花～始まった活動」	
病院の庭で「癒しの庭づくり」	
「園芸福祉活動でアクティブシニアの仲間入り」	
事務局からのお知らせ	P9



国土交通大臣表彰の報告

谷口 博隆



園芸福祉ふくおかネットは、国土交通大臣表彰を受賞いたしました。このことは平成16年7月設立以来アイランドシティ中央公園の園芸福祉の庭の提案を起点として、多くの会員が永く、広く活動を展開してきたことを評価された結果であり、大変光栄なことでございますのでご紹介いたします。

5月26日(土)皇太子同妃両殿下のご臨席のもと、第29回全国「みどりの愛護」のつどいの式典は滋賀県立長浜ドーム、記念植樹は琵琶湖湖岸緑地において開催されました。私の随行者として園芸福祉ふくおかネット

ト設立当初から長年にわたり役員として貢献してある黒瀬 恵子さん、同行者は緑のまちづくり協会職員の肥後谷さんの3名が福岡市の受賞団体として出席しました。

宿泊するホテルは皇太子ご夫妻もご宿泊になることから沿道には歓迎の人々や警衛警備の方などで緊張はしましたが良き思い出になりました。

式典会場では、ウェルカム演奏や子ども歌舞伎の三番叟が披露され、国歌斉唱、大臣などの挨拶があり長浜市立



入口パネル前にて

びわ中学校 PTA がヨシ群落の再生を目指

す「ヨシ行けどんどん作戦」の活動事例を発表。国土交通大臣表彰式では「みどりの愛護」に顕著な功績があった全国の106団体に感謝状が贈られました。

皇太子殿下は、緑は温暖化の防止や生物多様性の保全、環境の改善や災害防止に役立ち、暮らしにゆとりと潤いをもたらす。みどりの愛護は大変に意義が深い、守り育て発展することを願います。と述べられました。式典は小学生2名による誓いの言葉で終了しました。



つづいて琵琶湖湖岸緑地の記念植樹会場に移動し、皇太子ご夫妻の後方で植樹しました。写真を撮っていたら係の方が植樹用の金色のスコップを持って来て、シャッターも押してくださいました。特段のご配慮に感謝しつつ記念写真に納まることが出来ました。

記念植樹を終え見学バスで彦根城に向かいました。井伊家が20年かけて建設したこの城は国宝に指定されている優美な天守があり、中堀と内堀に守られた城跡は広大で緑も多く、桜の季節はきれいな景観が楽しめるだろうと思いました。今回の受賞を励みに、花や緑を活用した福祉的活動、社会貢献などを広く展開していきたいものです。



記念植樹前にて

シンポジウム in おかやまに参加して

黒瀬 恵子



6/9(土)・6/10(日) 第17回 園芸福祉シンポジウム in おかやま『人と人がつながる園芸の輪』が行われ、谷口代表と参加しました。初日の会場は市内の「ピュアリティまきび」で、総会が午前中行われ、午後からのシンポジウムは、岡山県立高松農業高校郷土芸能部による最上太鼓の歓迎演奏で始まり、若さ溢れる高校生の打ち鳴らす太鼓の鼓動が会場内に響き渡り、早くも参加者の心が一つになるようでした。



高松農業高校生徒による太鼓演奏で歓迎

基調講演は「福祉の心は園芸にあり」と題して、社会福祉法人旭川荘の末光茂理事長よりお話を頂きました。お母様が1本の草も生えていないようにきれいに管理されていたご自宅の庭を、今では奥様と毎朝5時に起き、奥様の不得手な部分は末光氏が引き受けてご一緒にされているそうです。時折笑みを浮かべながら穏やかな口調で話される末光氏のお人柄が見て取れるようでした。

事例発表では、NPO 法人岡山園芸福祉普及協会会員有志の皆さんが、障がい者施設の子も達や職員の方と一緒に頑張って野菜づくりや稲づくりを始め、食育まで発展している事例や、グループホームの施設職員の方が、初級園芸福祉士養成講座を受講したことがきっかけで、閉じこもりがちな入居者さんが少しでも外に出て行けるように園芸福祉活動を始められた事例をお聞きすることができました。



岡山県指定重要無形民俗文化財「太鼓田植」の様子

ミニワークショップの「スプラウトを作ってみよう！」では、時間の関係で体験は出来ませんでした。ライブでスプラウトの作り方を学ぶことが出来ましたし、材料や資料のお土産まで頂きました。

翌日の岡山後楽園見学は、雨の予報が出ていたものの「岡山は晴れの国」と言われるだけあって、傘をさすこともなく、お田植え祭まで見学することが出来ました。

今回のシンポジウムに参加し、改めて園芸福祉について考えてみました。園芸福祉とは、園芸をとおして自分がしたいことをするのではなく、園芸をとおして自分が相手に何が出来るのかを考え行動すること。

そこには相手への思いやりがあること。それは相手が健常者であっても障がい者であっても一緒なんだと言うこと。シンポジウムへの参加が良い気付きになりました。「シンポジウム in おかやま」の関係者の皆さま、ありがとうございました。

この度の西日本を中心とした豪雨で亡くなられた方々に哀悼の意を捧げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。被災地の方々におかれましては、一日も早い復旧がなされますことをお祈りいたします。

平成30年7月20日

園芸福祉ふくおかネット 役員一同

福岡市役所玄関前花壇の様式替え

二俣 はるみ

5月に宿根草以外の植え替えがあり、気分も新たに手入れ作業が始まりました。マリーゴールド、ベゴニア、バーベナが季節の花として植えられ、色彩もあかるく、マリーゴールドの黄色とベゴニアのピンク系の色の取り合わせが好きで癒されます。



植え替え後、半月位で作業に入りましたが、蒸れたのか、虫のせいなのか既に弱ったものがあるのには驚きでした。大量の花を植える花壇では仕方のない事なのかもしれませんが・・・。

宿根草も大きくなったり、花が終わったり、咲かせたりと花壇を変化させています。変化とともに昆虫が増え、蝶が来る生物共生の花壇が出来ることを期待したいです。

市役所花壇に限らず、花の手入れをしているといろいろな方から声を掛けられます。「お疲れ様」、「ありがとう」、「綺麗(花が)」、「花の名前は?」、「手入れのしかたは?」。花好き同志、話がはずみます。こんな交流があるから、うれしくなって少々腰が痛くても続けられます。次回の植え替えではどんな花で模様替えになるか、楽しみです。



街中の花壇でレモンの花、レモンの小さな実を見ることができます。天神にお出かけの際、探してみませんか。

